

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	教育委員会費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費
事業進捗度		—		目	01 教育委員会費
当初予算額		2,358,000 円	目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政の振興を図る。	
予算現額		2,358,000 円			
決算額 A		2,239,637 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	2,239,637 円			
人件費コスト B		0.3人役 2,289,600 円	総事業費 A+B	4,529,237 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【教育委員会費】	2,239,637円	0円	0円	0円	2,239,637円

定期的な教育委員会会議を月1回、全12回開催した。学校及び関連施設への訪問や公開授業の視察等も行い、教育課題への対処、教育行政の円滑化、活性化を図った。

● 経費の内訳

・ 委員報酬 (4名)	2,208,000円
・ 旅費	1,950円
・ 市町村教育委員会連合会負担金	29,687円
合計	2,239,637円

【繰越明許】

決算事項別明細書

P117

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	13	事務局費		款	10 教育費
事業開始年度		令和5年度		項	01 教育総務費
事業進捗度		—		目	02 事務局費
当初予算額		0 円	目的	教育委員会事務局の円滑な運営を図る。	
予算現額		15,000,000 円			
決算額 A		10,121,100 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	10,121,100 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	10,121,100 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【小中学校適正配置基礎調査事業】	10,121,100円	0円	0円	0円	10,121,100円
------------------	-------------	----	----	----	-------------

小中学校適正配置基本計画により再編対象となった校区において、小学校校舎及び新設中学校候補地選定のための基礎調査を行った。

● 小学校適正配置調査内容

- ・ 立地評価（利便性に関する評価、安全性に関する評価、環境性に関する評価）
- ・ 敷地・建物評価（敷地に関する評価、建物に関する評価）

● 中学校適正配置調査内容

- ・ 通学負担評価（移動負荷に関する評価）
- ・ 立地評価（利便性に関する評価、安全性に関する評価、環境性に関する評価）
- ・ 整備評価（整備に関する評価）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	13	事務局費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費			
事業進捗度		-		目	02 事務局費			
当初予算額		5,212,000 円	目的	教育委員会事務局の円滑な運営を図る。				
予算現額		4,966,000 円						
決算額 A		4,160,284 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	使用料外 3,905,718 円						
	一般財源	254,566 円						
人件費コスト B		1.0人役 7,632,000 円				総事業費 A+B	11,792,284 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【事務局運営事業費】	4,160,284円	0円	0円	3,905,718円	254,566円
------------	------------	----	----	------------	----------

会計年度任用職員の雇用や他団体との連携のための各種負担金、会議研修旅費、事務局運営に係る諸経費等を執行し、事務局の円滑な運営を行った。

● 経費の内訳

- ・ 報酬 1,572,180円
- ・ 職員手当等 552,290円
- ・ 共済費 351,460円
- ・ 報償費 9,570円
- ・ 旅費 188,970円
- ・ 交際費 83,481円
- ・ 需用費 34,967円
- ・ 役務費 164,299円
- ・ 委託料 550,000円
- ・ 負担金補助及び交付金 653,067円
- 合計 4,160,284円

					決算事項別明細書		P117																																																									
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課																																																									
中事業	20	学校教育の充実			予算科目	会計	01 一般会計																																																									
小事業	16	保健事業費				款	10 教育費																																																									
事業開始年度		令和6年度				項	01 教育総務費																																																									
事業進捗度		-				目	02 事務局費																																																									
当初予算額		8,341,000 円			目的	児童生徒、教職員の健康状態を把握し、その保持増進を図る。																																																										
予算現額		7,381,000 円																																																														
決算額 A		7,169,314 円																																																														
財源内訳	国・県支出金		0 円																																																													
	地方債		0 円																																																													
	その他	諸収入	1,086,520 円																																																													
	一般財源		6,082,794 円																																																													
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円					総事業費 A+B	11,748,514 円																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【教職員健康診断及び各種検査】</td> <td>3,470,317円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>3,470,317円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施した。また、教職員のメンタルヘルスとして、希望者を対象とした月1回のメンタルヘルス面談を実施、新規採用教職員全員を対象にメンタルヘルス面談を実施するとともに、令和6年度から産業医の委嘱を行った。そのほか、プール水質検査・飲料水水質検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受診者数：健康診断167人 胃がん検診27人 B型肝炎抗体検査22人 ● 各小学校における飲料水検査の実施（対象：9校） </td> </tr> <tr> <td>【就学時健康診断】</td> <td>745,759円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>745,759円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施した。また、健康診断時に必要な器具等を購入した。</p> </td> </tr> <tr> <td>【スポーツ振興センター負担金】</td> <td>2,350,510円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,086,520円</td> <td>1,263,990円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>独立行政法人日本スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障がい見舞金又は死亡見舞金）の支給事務を行った。また、加入時の負担金（1/2は保護者負担）を支出した（要保護・準要保護児童生徒を除く）。</p> </td> </tr> <tr> <td>【学校保健一般管理費】</td> <td>602,728円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>602,728円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>学校でのフッ化物洗口実施に係る薬品や保健室備品等を購入するなど学校保健環境の整備、学校管理下での被災時に児童生徒の緊急移送を行った。また、学校保健会に対する負担金の支出、学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上を行った。</p> </td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【教職員健康診断及び各種検査】	3,470,317円	0円	0円	0円	3,470,317円	<p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施した。また、教職員のメンタルヘルスとして、希望者を対象とした月1回のメンタルヘルス面談を実施、新規採用教職員全員を対象にメンタルヘルス面談を実施するとともに、令和6年度から産業医の委嘱を行った。そのほか、プール水質検査・飲料水水質検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受診者数：健康診断167人 胃がん検診27人 B型肝炎抗体検査22人 ● 各小学校における飲料水検査の実施（対象：9校） 						【就学時健康診断】	745,759円	0円	0円	0円	745,759円	<p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施した。また、健康診断時に必要な器具等を購入した。</p>						【スポーツ振興センター負担金】	2,350,510円	0円	0円	1,086,520円	1,263,990円	<p>独立行政法人日本スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障がい見舞金又は死亡見舞金）の支給事務を行った。また、加入時の負担金（1/2は保護者負担）を支出した（要保護・準要保護児童生徒を除く）。</p>						【学校保健一般管理費】	602,728円	0円	0円	0円	602,728円	<p>学校でのフッ化物洗口実施に係る薬品や保健室備品等を購入するなど学校保健環境の整備、学校管理下での被災時に児童生徒の緊急移送を行った。また、学校保健会に対する負担金の支出、学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上を行った。</p>								
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他				一般財源																																																								
【教職員健康診断及び各種検査】	3,470,317円	0円	0円	0円	3,470,317円																																																											
<p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施した。また、教職員のメンタルヘルスとして、希望者を対象とした月1回のメンタルヘルス面談を実施、新規採用教職員全員を対象にメンタルヘルス面談を実施するとともに、令和6年度から産業医の委嘱を行った。そのほか、プール水質検査・飲料水水質検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受診者数：健康診断167人 胃がん検診27人 B型肝炎抗体検査22人 ● 各小学校における飲料水検査の実施（対象：9校） 																																																																
【就学時健康診断】	745,759円	0円	0円	0円	745,759円																																																											
<p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施した。また、健康診断時に必要な器具等を購入した。</p>																																																																
【スポーツ振興センター負担金】	2,350,510円	0円	0円	1,086,520円	1,263,990円																																																											
<p>独立行政法人日本スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障がい見舞金又は死亡見舞金）の支給事務を行った。また、加入時の負担金（1/2は保護者負担）を支出した（要保護・準要保護児童生徒を除く）。</p>																																																																
【学校保健一般管理費】	602,728円	0円	0円	0円	602,728円																																																											
<p>学校でのフッ化物洗口実施に係る薬品や保健室備品等を購入するなど学校保健環境の整備、学校管理下での被災時に児童生徒の緊急移送を行った。また、学校保健会に対する負担金の支出、学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上を行った。</p>																																																																

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課				
中事業	30	生涯学習の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	10	ふるさと連携教育推進事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費			
事業進捗度		-		目	02 事務局費			
当初予算額		10,139,000 円	目的	家庭や地域と連携し、地域の教育資源を活用できる「ふるさと」を切り口に児童・生徒の豊かな人間性や社会性を育む。				
予算現額		7,720,000 円						
決算額 A		7,396,093 円						
財源内訳	国・県支出金	1,725,000 円						
	地方債	0 円						
	その他	3,900,005 円						
	一般財源	1,771,088 円						
人件費コスト B		0.3人役 2,289,600 円				総事業費 A+B	9,685,693 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【ふるさと教育推進事業】	5,778,500円	1,725,000円	0円	3,900,005円	153,495円
地域の「ひと・もの・こと」に関わる学習を通じ、地域に対する愛着と誇りをもち地域に貢献する心情や態度を育てた。					
【ふるさとに根ざした道徳教育推進事業】	497,500円	0円	0円	0円	497,500円
島根県の中学校道徳教材に採用された「加納莞菴」に関連させ、加納美術館において名誉館長から直接講話を聞くなどし、平和への意識を高め、ふるさとを誇りに思う心情を醸成した。					
【学校運営協議会設置事業】	904,506円	0円	0円	0円	904,506円
学校と地域が相互に理解を深め、教育活動を充実させることを目指し、市内全ての小中学校に学校運営協議会を設置した。					
【中学校区での魅力ある学校づくり推進事業】	215,587円	0円	0円	0円	215,587円
地域課題を意識した児童生徒の学習や、中学校単位で小中学校が連携して課題解決に取り組む「魅力ある学校づくり」等の一層の充実を図り、地域と連携・協働できる学校づくりを推進した。					



【ふるさとに根ざした道徳教育推進事業】
加納美術館における平和学習



【学校運営協議会設置事業】
比田小学校運営協議会の様子

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	19	外国語指導事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費			
事業進捗度		—		目	03 教育支援事業費			
当初予算額		32,611,000 円	目的	各幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、児童・生徒の国際理解の促進や英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。				
予算現額		31,100,000 円						
決算額 A		30,926,042 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	諸収入 74,900 円						
	一般財源	30,851,142 円						
人件費コスト B		0.3人役 2,289,600 円				総事業費 A+B	33,215,642 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【外国語指導事業】	30,838,984円	0円	0円	74,900円	30,764,084円
-----------	-------------	----	----	---------	-------------

6名のALTを市内各小中学校、幼稚園、保育所、認定こども園に対し、学校規模に応じて週当たり小学校2～6コマ、中学校8～32コマ、幼児教育施設3～4日程度の派遣を行い、ネイティブな音声表現に触れる機会を持つことで、外国語（英語）コミュニケーション能力の向上を図った。

また、語学を通して他国の文化への興味・関心を養うなど、国際理解教育を推進した。

● 主な事業費

- ・ 外国語指導助手報酬（延べ5名） 12,490,000円
- ・ 社会保険料等 1,892,573円
- ・ 外国語指導助手派遣事業委託料（延べ4名） 15,760,800円
- ・ 自治体国際化協会負担金 246,950円

【英語力向上事業】	87,058円	0円	0円	0円	87,058円
-----------	---------	----	----	----	---------

外国語教育の指導力向上のため、市内の教職員を対象に研修会を開催した。また、英語に関心のある児童生徒を対象に、ALTと英語中心で会話しながら活動することで主体的な英語コミュニケーションを図ることを目的としたイングリッシュキャンプを実施した。



イングリッシュデーの様子（第三中学校）

						決算事項別明細書		P119																																																																																				
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課																																																																																					
中事業	20	学校教育の充実			予算科目	会計	01	一般会計																																																																																				
小事業	22	教育支援事業費				款	10	教育費																																																																																				
事業開始年度		令和6年度				項	01	教育総務費																																																																																				
事業進捗度		-				目	03	教育支援事業費																																																																																				
当初予算額		167,453,000 円			目的	児童・生徒の個性に応じた教育の推進及び家庭や地域に対する働きかけにより、教育力の向上を図る。																																																																																						
予算現額		153,121,000 円																																																																																										
決算額 A		148,621,889 円																																																																																										
財源内訳	国・県支出金	国/2 県	24,842,111 円																																																																																									
	地方債		0 円																																																																																									
	その他	基金外	25,564,939 円																																																																																									
	一般財源		98,214,839 円																																																																																									
人件費コスト B		1.5人役	11,448,000 円							総事業費 A+B		160,069,889 円																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【特別支援教育・就学移行支援事業】</td> <td>62,590,849円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>294,182円</td> <td>62,296,667円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指導講師及び支援員を配置し、児童生徒へ支援を行った。また、就学前の幼児に対し、発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者には継続電話相談や『すこやか教室』での相談・支援を行った。また、4年に1度の小学校教科書改訂に伴う教師用指導書等を購入した。</td> </tr> <tr> <td>【学校人権同和教育・いじめ問題対策推進事業】</td> <td>8,385,726円</td> <td>3,424,200円</td> <td>0円</td> <td>18,014円</td> <td>4,943,512円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図った。教育相談指導員、スクールソーシャルワーカー及び子どもと親の相談員を配置し、不登校相談やいじめ防止に関する教育相談を行うとともに、小中学校や教育支援センターとの連携を強化するほか、児童生徒の環境への働きかけや家庭と地域、児童福祉施設等との連携支援を行いいじめや不登校など生徒指導上の課題に対応した。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を行い、支援の必要な児童等への対応を行った。</td> </tr> <tr> <td>【学力向上事業】</td> <td>2,406,591円</td> <td>988,911円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,417,680円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">県の「しまねの学力育成プロジェクト」の指定を受け、授業改善の実践研究や指定校の取組事例の共有等を行った。あわせて本市独自で学力向上に向けた研究等を行い、家庭学習習慣の定着や学力向上に取り組んだ。</td> </tr> <tr> <td>【就学援助事業】</td> <td>28,578,623円</td> <td>1,565,000円</td> <td>0円</td> <td>25,100,000円</td> <td>1,913,623円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">特別支援学級児童生徒の保護者に対する経済的負担の軽減や、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対する援助を行った。</td> </tr> <tr> <td>【学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業】</td> <td>22,212,339円</td> <td>10,948,000円</td> <td>0円</td> <td>112,331円</td> <td>11,152,008円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">教職員の業務負担軽減のため8名のスクールサポートスタッフを配置した。また、外国人転入児童対応のため学習支援員を3名配置し、言語の支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>【その他】</td> <td>24,447,761円</td> <td>7,916,000円</td> <td>0円</td> <td>40,412円</td> <td>16,491,349円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">教員不足に対応するため4名の緊急校務支援員を配置した。また、共同学校事務室運営費やインターネットバンキング負担金等学校の働き方改革に係る経費、学校運営に係る印刷製本費等の経費及び児童生徒の学力向上、生徒指導や特別支援教育等の学校支援のための指導主事派遣負担金を負担した。</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【特別支援教育・就学移行支援事業】	62,590,849円	0円	0円	294,182円	62,296,667円	指導講師及び支援員を配置し、児童生徒へ支援を行った。また、就学前の幼児に対し、発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者には継続電話相談や『すこやか教室』での相談・支援を行った。また、4年に1度の小学校教科書改訂に伴う教師用指導書等を購入した。						【学校人権同和教育・いじめ問題対策推進事業】	8,385,726円	3,424,200円	0円	18,014円	4,943,512円	指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図った。教育相談指導員、スクールソーシャルワーカー及び子どもと親の相談員を配置し、不登校相談やいじめ防止に関する教育相談を行うとともに、小中学校や教育支援センターとの連携を強化するほか、児童生徒の環境への働きかけや家庭と地域、児童福祉施設等との連携支援を行いいじめや不登校など生徒指導上の課題に対応した。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を行い、支援の必要な児童等への対応を行った。						【学力向上事業】	2,406,591円	988,911円	0円	0円	1,417,680円	県の「しまねの学力育成プロジェクト」の指定を受け、授業改善の実践研究や指定校の取組事例の共有等を行った。あわせて本市独自で学力向上に向けた研究等を行い、家庭学習習慣の定着や学力向上に取り組んだ。						【就学援助事業】	28,578,623円	1,565,000円	0円	25,100,000円	1,913,623円	特別支援学級児童生徒の保護者に対する経済的負担の軽減や、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対する援助を行った。						【学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業】	22,212,339円	10,948,000円	0円	112,331円	11,152,008円	教職員の業務負担軽減のため8名のスクールサポートスタッフを配置した。また、外国人転入児童対応のため学習支援員を3名配置し、言語の支援を行った。						【その他】	24,447,761円	7,916,000円	0円	40,412円	16,491,349円	教員不足に対応するため4名の緊急校務支援員を配置した。また、共同学校事務室運営費やインターネットバンキング負担金等学校の働き方改革に係る経費、学校運営に係る印刷製本費等の経費及び児童生徒の学力向上、生徒指導や特別支援教育等の学校支援のための指導主事派遣負担金を負担した。										
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																																																																																		
【特別支援教育・就学移行支援事業】	62,590,849円	0円	0円	294,182円	62,296,667円																																																																																							
指導講師及び支援員を配置し、児童生徒へ支援を行った。また、就学前の幼児に対し、発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者には継続電話相談や『すこやか教室』での相談・支援を行った。また、4年に1度の小学校教科書改訂に伴う教師用指導書等を購入した。																																																																																												
【学校人権同和教育・いじめ問題対策推進事業】	8,385,726円	3,424,200円	0円	18,014円	4,943,512円																																																																																							
指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図った。教育相談指導員、スクールソーシャルワーカー及び子どもと親の相談員を配置し、不登校相談やいじめ防止に関する教育相談を行うとともに、小中学校や教育支援センターとの連携を強化するほか、児童生徒の環境への働きかけや家庭と地域、児童福祉施設等との連携支援を行いいじめや不登校など生徒指導上の課題に対応した。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を行い、支援の必要な児童等への対応を行った。																																																																																												
【学力向上事業】	2,406,591円	988,911円	0円	0円	1,417,680円																																																																																							
県の「しまねの学力育成プロジェクト」の指定を受け、授業改善の実践研究や指定校の取組事例の共有等を行った。あわせて本市独自で学力向上に向けた研究等を行い、家庭学習習慣の定着や学力向上に取り組んだ。																																																																																												
【就学援助事業】	28,578,623円	1,565,000円	0円	25,100,000円	1,913,623円																																																																																							
特別支援学級児童生徒の保護者に対する経済的負担の軽減や、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対する援助を行った。																																																																																												
【学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業】	22,212,339円	10,948,000円	0円	112,331円	11,152,008円																																																																																							
教職員の業務負担軽減のため8名のスクールサポートスタッフを配置した。また、外国人転入児童対応のため学習支援員を3名配置し、言語の支援を行った。																																																																																												
【その他】	24,447,761円	7,916,000円	0円	40,412円	16,491,349円																																																																																							
教員不足に対応するため4名の緊急校務支援員を配置した。また、共同学校事務室運営費やインターネットバンキング負担金等学校の働き方改革に係る経費、学校運営に係る印刷製本費等の経費及び児童生徒の学力向上、生徒指導や特別支援教育等の学校支援のための指導主事派遣負担金を負担した。																																																																																												

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	25	教育支援センター運営事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費			
事業進捗度		-		目	03 教育支援事業費			
当初予算額		25,701,000 円	目的	心理的・情緒的な要因で学校へ登校できない状態や集団に適應できない状態にある児童・生徒の支援を行う。				
予算現額		22,346,000 円						
決算額 A		21,616,000 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	基金外 20,950,041 円						
	一般財源	665,959 円						
人件費コスト B		0.4人役 3,052,800 円				総事業費 A+B	24,668,800 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【教育支援センター運営事業（広瀬）】	18,655,427円	0円	0円	18,050,041円	605,386円
--------------------	-------------	----	----	-------------	----------

センター長1名、相談員及び支援員9名を配置し、心理的・情緒的な要因により、不登校や集団に適應できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなろ』の運営を行い、年間13名が通所した。

【教育支援センター運営事業（能義分室）】	2,960,573円	0円	0円	2,900,000円	60,573円
----------------------	------------	----	----	------------	---------

能義こども園を教育支援センターあすなろ分室と位置づけ、一人一人の課題に応じた支援を必要とする不登校児童・生徒の居場所づくりを行い、年間5名が通所した。



【教育支援センター運営事業（広瀬）】
探究活動（松江探検）



【教育支援センター運営事業（能義分室）】
調理実習の様子

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	28	学校図書館活性化事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	01 教育総務費			
事業進捗度		—		目	03 教育支援事業費			
当初予算額		63,210,000 円	目的	読書活動と学校図書館活用教育の推進を図る。				
予算現額		58,902,000 円						
決算額 A		58,242,873 円						
財源内訳	国・県支出金	県				15,054,000 円		
	地方債					0 円		
	その他	基金外				40,687,316 円		
	一般財源	2,501,557 円						
人件費コスト B		0.3人役				2,289,600 円	総事業費 A+B	60,532,473 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【学校図書館活性化事業】	4,734,775円	0円	0円	2,592,930円	2,141,845円
教育委員会事務局内に学校図書館支援センタースタッフ1名を配置し、学校図書館「学びのサポーター」の研修の実施や図書管理システムの活用等により、学校図書館の支援や機能の充実を図った。					
【学びのサポーター配置事業】	53,508,098円	15,054,000円	0円	38,094,386円	359,712円
学校司書等による学びのサポート事業補助金を活用し、各学校図書館に学びのサポーター22名を配置し、読書活動の推進やICTを活用した学習支援等、学校図書館を拠点とした子どもたちの学びを支援した。					



図書館での作業風景



部活動特集

				決算事項別明細書		P119					
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課					
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計				
小事業	29	ICT教育推進事業費			款	10	教育費				
事業開始年度		令和6年度			項	01	教育総務費				
事業進捗度		-			目	03	教育支援事業費				
当初予算額		45,302,000 円		目的	ICT環境を整備し「情報活用能力の育成」や「子どもたちの学びを深める授業改善」を図り、ICT教育を推進する。						
予算現額		45,807,000 円									
決算額 A		44,279,337 円									
財源内訳	国・県支出金	県1/3	286,000 円								
	地方債		0 円								
	その他	基金外	40,935,710 円								
	一般財源		3,057,627 円								
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円					総事業費 A+B		48,858,537 円	
【事業名称】		事業費	国・県支出金					地方債	その他	一般財源	
【ICT教育推進事業】		44,229,837円	286,000円					0円	40,886,210円	3,057,627円	
<p>個に応じた指導と協働的な学びを一層充実させるためのICT環境整備として、ネットワークアセスメント（ネットワークを調査し課題の把握や原因箇所の特定を行うこと）を実施した。また、中学校で使用するChromebookが更新時期を迎えており、令和7年4月からの新端末利用に向けて、調達（リース）を実施、各校へ配置した。</p> <p>情報活用教育指導講師を配置し、研修や学校訪問等を通して授業でのICT機器の活用方法についての助言、支援を行った。</p> <p>ICT活用研究指定校事業を実施し、授業改善に向けて実践を通じた研究を行い、その成果について市内全校で共有した。</p>											
<p>● 主な事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報活用教育指導講師報酬等 6,897,173円 ・ ネットワークアセスメント業務委託料 859,606円 ・ 器具借上料 28,740,030円 											
【情報科学高校との連携事業】		49,500円	0円	0円	49,500円	0円					
<p>市内の小中学生が情報科学高校に出向いて、プログラミング学習の実施、ドローン操作体験や高校生との交流などを行った。高校生のサポートを受けての学習に加え、今後の学校生活を送るにあたってのアドバイスなどを受けた。</p>											
											
<p>Chromebookで自分の動きを撮影、確認しながら跳び箱の練習をする様子（社日小学校）</p>											

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	34	小学校管理費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	02 小学校費			
事業進捗度		-		目	01 学校管理費			
当初予算額		203,477,000 円	目的	小学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。				
予算現額		206,065,000 円						
決算額 A		195,418,027 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	公共施設 9,500,000 円						
	その他	使用料外 1,870,418 円						
	一般財源	184,047,609 円						
人件費コスト B		1.2人役 9,158,400 円				総事業費 A+B	204,576,427 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【小学校施設維持・管理】 195,418,027円 0円 9,500,000円 1,870,418円 184,047,609円

小学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図った。また各種設置設備等について、法令等を遵守した適切な状態で維持し、安全に稼働させるため、清掃や保守点検業務を行った。

- 市内小学校（17校）
- 経費の内訳

・報酬	28,516,617円
・職員手当	8,275,676円
・共済費	5,828,940円
・需用費	107,126,129円
・役務費	12,776,706円
・委託料	20,750,543円
・使用料及び賃借料	9,614,600円
・材料費	397,100円
・備品購入費	2,131,716円
合計	195,418,027円



照明器具修善作業の様子（安田小学校）



浄化槽蓋取替修善（島田小学校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	40	小学校保健管理費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	02 小学校費			
事業進捗度		-		目	01 学校管理費			
当初予算額		7,793,000 円	目的	学校医と連携を図り、小学校児童の健康管理を充実する。				
予算現額		7,693,000 円						
決算額 A		7,637,884 円						
財源内訳	国・県支出金	国				313,000 円		
	地方債					0 円		
	その他					0 円		
	一般財源					7,324,884 円		
人件費コスト B		0.4人役				3,052,800 円	総事業費 A+B	10,690,684 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【定期健康診断】	5,601,340円	313,000円	0円	0円	5,288,340円
学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）による定期健康診断を実施した。実施に当たっては、へき地児童生徒援助費等補助金（保健管理費）を活用し、児童の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行った。					
● 対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1・2・5学年					
【各種検査】	1,649,637円	0円	0円	0円	1,649,637円
尿検査、心電図検査を実施することで児童の健康状態を把握し、疾病予防に努めた。					
● 対象学年 尿検査：全学年 心電図検査：1・4学年					
【感染症対策消耗品費】	386,907円	0円	0円	0円	386,907円
インフルエンザ等の感染症予防対策として、マスク、ハンドソープ、消毒液等を購入し、手洗いやうがいの励行を指導した。					

【繰越明許】

決算事項別明細書

P119

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	43	小学校整備費		款	10 教育費
事業開始年度		令和5年度		項	02 小学校費
事業進捗度		—		目	01 学校管理費
当初予算額		0 円	目的	小学校施設の整備・改修等を実施し、教育環境の安全確保と向上を図る。	
予算現額		9,078,000 円			
決算額 A		8,078,000 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎 8,000,000 円			
	その他	0 円			
	一般財源	78,000 円			
人件費コスト B		0.0人役 0 円	総事業費 A+B	8,078,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【小学校整備事業】	8,078,000円	0円	8,000,000円	0円	78,000円
-----------	------------	----	------------	----	---------

小学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施した。

● 経費の内訳

・ 工事監理委託料	1,408,000円
・ 工事請負費	6,670,000円
合計	8,078,000円

● 主な工事内容

・ 空調設備等改修工事（社日）	6,670,000円
-----------------	------------



エアコン設置状況

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	43	小学校整備費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	02 小学校費			
事業進捗度		-		目	01 学校管理費			
当初予算額		127,868,000 円	目的	小学校施設の整備・改修等を実施し、教育環境の安全確保と向上を図る。				
予算現額		122,485,000 円						
決算額 A		114,526,388 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎外 111,400,000 円						
	その他	0 円						
	一般財源	3,126,388 円						
人件費コスト B		1.2人役 9,158,400 円				総事業費 A+B	123,684,788 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【小学校整備事業】	114,526,388円	0円	111,400,000円	0円	3,126,388円
-----------	--------------	----	--------------	----	------------

小学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施した。

● 経費の内訳

・ 需用費	7,055,288円
・ 役務費	712,800円
・ 委託料	7,667,000円
・ 工事請負費	99,091,300円
合計	114,526,388円

● 主な工事内容

・ 空調設備等改修工事（島田、広瀬、安田、母里）	40,262,200円
・ トイレ改修工事（赤江、広瀬、母里、安田）	21,644,700円
・ 校舎外壁部分漏水改修工事（社日）	19,580,000円
・ スクールバス車庫新築工事（比田）	12,650,000円
・ 駐車場進入路設置工事（荒島）	3,029,400円
・ 火災受信機取替工事（赤屋、山佐）	1,925,000円



駐車場進入路設置工事（荒島）



トイレ改修工事（安田）



校舎外壁部分漏水改修工事（社日）



スクールバス車庫新築工事（比田）

				決算事項別明細書		P121																																																																												
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課																																																																												
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01 一般会計																																																																												
小事業	46	小学校教育振興費			款	10 教育費																																																																												
事業開始年度		令和6年度			項	02 小学校費																																																																												
事業進捗度		-			目	02 教育振興費																																																																												
当初予算額		65,062,000 円		目的	小学校児童の学習環境を整えることにより、児童の学習意欲の向上を図り、創造性豊かな学習を実践する。																																																																													
予算現額		63,998,000 円																																																																																
決算額 A		62,605,535 円																																																																																
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県	1,673,000 円																																																																															
	地方債		0 円																																																																															
	その他	基金	42,400,000 円																																																																															
	一般財源		18,532,535 円																																																																															
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円				総事業費 A+B	67,184,735 円																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【小学校教育振興費】</td> <td>56,490,053円</td> <td>28,000円</td> <td>0円</td> <td>42,400,000円</td> <td>14,062,053円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> 授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、社会科見学用バスの借り上げ、及び安来市小学校体育連盟負担金、小学校教育研究会負担金の支払いを行った。 4年に1度の教科書改訂が行われ、改訂後の教科書に対応した指導書の購入を行った。 また、スクールバスのない小学校の遠距離通学の児童に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。 広域生活バスが利用できない児童に対しても年額9,000円以内の補助を行った。 </td> </tr> <tr> <td>【理科教育設備整備費等事業】</td> <td>3,372,982円</td> <td>1,645,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,727,982円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> 理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。 </td> </tr> <tr> <td>【学校プール代替事業】</td> <td>192,500円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>192,500円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> 自校プールが老朽化により使用できなくなった赤屋小学校が近隣の井尻小学校プールで水泳学習を行えるよう送迎バスの借り上げを行った。 </td> </tr> <tr> <td colspan="7"> （参考）代替プール利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用施設</th> <th>利用校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安来市民プール</td> <td>宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校</td> </tr> <tr> <td>広瀬勤労者体育センター</td> <td>比田小学校、山佐小学校、布部小学校</td> </tr> <tr> <td>井尻小学校</td> <td>赤屋小学校</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>【社会科副読本作成事業】</td> <td>2,550,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,550,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> 小学3・4年生を対象とした社会科副読本「わたしたちのふるさとやすぎ（改訂16版）」について、編集等を委託、1250冊作成した。 </td> </tr> </tbody> </table>							【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【小学校教育振興費】	56,490,053円	28,000円	0円	42,400,000円	14,062,053円	授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、社会科見学用バスの借り上げ、及び安来市小学校体育連盟負担金、小学校教育研究会負担金の支払いを行った。 4年に1度の教科書改訂が行われ、改訂後の教科書に対応した指導書の購入を行った。 また、スクールバスのない小学校の遠距離通学の児童に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。 広域生活バスが利用できない児童に対しても年額9,000円以内の補助を行った。							【理科教育設備整備費等事業】	3,372,982円	1,645,000円	0円	0円	1,727,982円	理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。							【学校プール代替事業】	192,500円	0円	0円	0円	192,500円	自校プールが老朽化により使用できなくなった赤屋小学校が近隣の井尻小学校プールで水泳学習を行えるよう送迎バスの借り上げを行った。							（参考）代替プール利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用施設</th> <th>利用校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安来市民プール</td> <td>宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校</td> </tr> <tr> <td>広瀬勤労者体育センター</td> <td>比田小学校、山佐小学校、布部小学校</td> </tr> <tr> <td>井尻小学校</td> <td>赤屋小学校</td> </tr> </tbody> </table>							利用施設	利用校	安来市民プール	宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校	広瀬勤労者体育センター	比田小学校、山佐小学校、布部小学校	井尻小学校	赤屋小学校	【社会科副読本作成事業】	2,550,000円	0円	0円	0円	2,550,000円	小学3・4年生を対象とした社会科副読本「わたしたちのふるさとやすぎ（改訂16版）」について、編集等を委託、1250冊作成した。									
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債				その他	一般財源																																																																										
【小学校教育振興費】	56,490,053円	28,000円	0円	42,400,000円	14,062,053円																																																																													
授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、社会科見学用バスの借り上げ、及び安来市小学校体育連盟負担金、小学校教育研究会負担金の支払いを行った。 4年に1度の教科書改訂が行われ、改訂後の教科書に対応した指導書の購入を行った。 また、スクールバスのない小学校の遠距離通学の児童に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。 広域生活バスが利用できない児童に対しても年額9,000円以内の補助を行った。																																																																																		
【理科教育設備整備費等事業】	3,372,982円	1,645,000円	0円	0円	1,727,982円																																																																													
理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。																																																																																		
【学校プール代替事業】	192,500円	0円	0円	0円	192,500円																																																																													
自校プールが老朽化により使用できなくなった赤屋小学校が近隣の井尻小学校プールで水泳学習を行えるよう送迎バスの借り上げを行った。																																																																																		
（参考）代替プール利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用施設</th> <th>利用校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安来市民プール</td> <td>宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校</td> </tr> <tr> <td>広瀬勤労者体育センター</td> <td>比田小学校、山佐小学校、布部小学校</td> </tr> <tr> <td>井尻小学校</td> <td>赤屋小学校</td> </tr> </tbody> </table>							利用施設	利用校	安来市民プール	宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校	広瀬勤労者体育センター	比田小学校、山佐小学校、布部小学校	井尻小学校	赤屋小学校																																																																				
利用施設	利用校																																																																																	
安来市民プール	宇賀荘小学校、南小学校、能義小学校、飯梨小学校、安田小学校、母里小学校																																																																																	
広瀬勤労者体育センター	比田小学校、山佐小学校、布部小学校																																																																																	
井尻小学校	赤屋小学校																																																																																	
【社会科副読本作成事業】	2,550,000円	0円	0円	0円	2,550,000円																																																																													
小学3・4年生を対象とした社会科副読本「わたしたちのふるさとやすぎ（改訂16版）」について、編集等を委託、1250冊作成した。																																																																																		

				決算事項別明細書		P121
大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	49	スクールバス運行事業費		款	10	教育費
事業開始年度		令和6年度		項	02	小学校費
事業進捗度		-		目	02	教育振興費
当初予算額		11,070,000 円		目的	通学が困難な児童が円滑に登校できるようにする。	
予算現額		11,070,000 円				
決算額 A		10,694,416 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	10,694,416 円				
人件費コスト B		0.3人役	2,289,600 円	総事業費 A+B	12,984,016 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【スクールバス運行事業】	10,694,416円	0円	0円	0円	10,694,416円
--------------	-------------	----	----	----	-------------

比田・山佐・布部各地区において、遠距離通学となる児童が円滑に登下校できるようにスクールバスを運行した。また、市内の小中学校の校外活動のための特別臨時便を運行した。

- スクールバス運行コース
 - ・ 東比田地区～比田小学校
 - ・ 奥田原地区～山佐小学校
 - ・ 西谷地区～下布部地区～布部小学校
- 運行路線
 - ・ 比田小学校：東比田地区～学校までの区間 約43.6km（往復）
 - ・ 山佐小学校：奥田原地区～学校までの区間 約34.0km（往復）
 - ・ 布部小学校：西谷地区・下布部地区～学校までの区間 約59.0km（往復）

※3地区ともに登校時は1便、下校時は学年による下校時刻の違い等に対応するため2便で運行

- 利用者数
 - ・ 比田小学校：10名
 - ・ 山佐小学校：11名
 - ・ 布部小学校：5名



スクールバスを利用する様子（山佐小学校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	58	中学校管理費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	03 中学校費			
事業進捗度		-		目	01 学校管理費			
当初予算額		78,399,000 円	目的	中学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。				
予算現額		79,185,000 円						
決算額 A		74,281,388 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	公共施設 2,500,000 円						
	その他	使用料外 586,126 円						
	一般財源	71,195,262 円						
人件費コスト B		1.1人役 8,395,200 円				総事業費 A+B	82,676,588 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【中学校施設維持・管理】	74,281,388円	0円	2,500,000円	586,126円	71,195,262円

中学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図った。また各種設置設備等について、法令等を遵守した適切な状態で維持し、安全に稼働させるため、清掃や保守点検業務を行った。

- 市内中学校（5校）
- 経費の内訳

・報酬	8,270,305円
・職員手当	2,541,450円
・共済費	1,835,964円
・需用費	44,745,924円
・役務費	6,016,282円
・委託料	7,734,771円
・使用料及び賃借料	2,292,104円
・備品購入費	844,588円
合計	74,281,388円



渡り廊下外壁修善（広瀬中学校）



手洗い配水管修善（第二中学校）

				決算事項別明細書		P121																																										
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課																																										
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01 一般会計																																										
小事業	64	中学校保健管理費			款	10 教育費																																										
事業開始年度		令和6年度			項	03 中学校費																																										
事業進捗度		-			目	01 学校管理費																																										
当初予算額		3,207,000 円		目的	学校医と連携を図り、中学校生徒の健康管理を充実する。																																											
予算現額		3,097,000 円																																														
決算額 A		3,051,428 円																																														
財源内訳	国・県支出金		0 円																																													
	地方債		0 円																																													
	その他		0 円																																													
	一般財源		3,051,428 円																																													
人件費コスト B		0.4人役	3,052,800 円	総事業費 A+B		6,104,228 円																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【定期健康診断】</td> <td>2,014,700円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,014,700円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 学校医（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）による定期健康診断を実施し、生徒の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1学年 </td> </tr> <tr> <td>【各種検査】</td> <td>887,700円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>887,700円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 尿検査及び心電図検査を実施することで生徒の健康状態を把握し、疾病予防に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 尿検査：全学年 心電図検査：1学年 </td> </tr> <tr> <td>【感染症対策消耗品費】</td> <td>149,028円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>149,028円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">インフルエンザ等の感染症予防として、マスク、ハンドソープ等を購入し、手洗いやうがいの励行を指導した。</td> </tr> </tbody> </table>							【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【定期健康診断】	2,014,700円	0円	0円	0円	2,014,700円	学校医（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）による定期健康診断を実施し、生徒の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1学年 						【各種検査】	887,700円	0円	0円	0円	887,700円	尿検査及び心電図検査を実施することで生徒の健康状態を把握し、疾病予防に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 尿検査：全学年 心電図検査：1学年 						【感染症対策消耗品費】	149,028円	0円	0円	0円	149,028円	インフルエンザ等の感染症予防として、マスク、ハンドソープ等を購入し、手洗いやうがいの励行を指導した。					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																											
【定期健康診断】	2,014,700円	0円	0円	0円	2,014,700円																																											
学校医（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）による定期健康診断を実施し、生徒の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1学年 																																																
【各種検査】	887,700円	0円	0円	0円	887,700円																																											
尿検査及び心電図検査を実施することで生徒の健康状態を把握し、疾病予防に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対象学年 尿検査：全学年 心電図検査：1学年 																																																
【感染症対策消耗品費】	149,028円	0円	0円	0円	149,028円																																											
インフルエンザ等の感染症予防として、マスク、ハンドソープ等を購入し、手洗いやうがいの励行を指導した。																																																

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	67	中学校整備費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	03 中学校費			
事業進捗度		-		目	01 学校管理費			
当初予算額		63,350,000 円	目的	中学校施設の整備・改修等を実施し、教育環境の安全確保と向上を図る。				
予算現額		60,420,000 円						
決算額 A		59,408,800 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎外 56,400,000 円						
	その他	寄附金 1,000,000 円						
	一般財源	2,008,800 円						
人件費コスト B		1.1人役 8,395,200 円				総事業費 A+B	67,804,000 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【中学校整備事業】 59,408,800円 0円 56,400,000円 1,000,000円 2,008,800円

中学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施した。

● 経費の内訳

・ 役務費	338,800円
・ 委託料	9,350,000円
・ 工事請負費	49,720,000円
合計	59,408,800円

● 主な工事内容

・ 空調設備等改修工事（二中、三中）	24,145,000円
・ 非常階段等改修工事（三中）	14,190,000円
・ 屋上防水改修工事（伯太）	8,800,000円
・ 給水管等改修工事（二中）	2,585,000円



空調設備等改修工事（三中）



非常階段等改修工事（三中）



屋上防水改修工事（伯太）



給水管等改修工事（二中）

					決算事項別明細書		P121																																													
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課																																													
中事業	20	学校教育の充実			予算科目	会計	01 一般会計																																													
小事業	70	中学校教育振興費				款	10 教育費																																													
事業開始年度		令和6年度				項	03 中学校費																																													
事業進捗度		-				目	02 教育振興費																																													
当初予算額		25,911,000 円			目的	中学校生徒の学習環境を整えることにより、生徒の学習意欲の向上を図り、創造性豊かな学習を実践する。																																														
予算現額		22,782,000 円																																																		
決算額 A		20,497,520 円																																																		
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県2/3	2,432,000 円																																																	
	地方債		0 円																																																	
	その他		0 円																																																	
	一般財源		18,065,520 円																																																	
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円					総事業費 A+B	25,076,720 円																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【中学校教育振興費】</td> <td>13,816,624円</td> <td>7,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>13,809,624円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、学校行事用のバスの借り上げ、及び安来市中学校体育連盟負担金、中学校教育研究会負担金、中学校生徒派遣交付金の支払いを行った。 また、遠距離通学の生徒に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。広域生活バスが利用できない生徒に対しても年額12,000円以内の補助を行った。 </td> </tr> <tr> <td>【理科教育設備整備費等事業】</td> <td>1,774,910円</td> <td>887,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>887,910円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。 </td> </tr> <tr> <td>【部活動地域指導者活用支援事業】</td> <td>4,905,986円</td> <td>1,538,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>3,367,986円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 専門的な指導者がいない中学校の部活動に、実技指導力を備えた地域の社会人指導者（地域指導者及び地域連携指導員）を派遣した。 対象校：計5校（全中学校） 運動部24名（野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、体操、ソフトテニス） 文化部2名（吹奏楽、弦楽） </td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【中学校教育振興費】	13,816,624円	7,000円	0円	0円	13,809,624円	授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、学校行事用のバスの借り上げ、及び安来市中学校体育連盟負担金、中学校教育研究会負担金、中学校生徒派遣交付金の支払いを行った。 また、遠距離通学の生徒に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。広域生活バスが利用できない生徒に対しても年額12,000円以内の補助を行った。						【理科教育設備整備費等事業】	1,774,910円	887,000円	0円	0円	887,910円	理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。						【部活動地域指導者活用支援事業】	4,905,986円	1,538,000円	0円	0円	3,367,986円	専門的な指導者がいない中学校の部活動に、実技指導力を備えた地域の社会人指導者（地域指導者及び地域連携指導員）を派遣した。 対象校：計5校（全中学校） 運動部24名（野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、体操、ソフトテニス） 文化部2名（吹奏楽、弦楽）								
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他				一般財源																																												
【中学校教育振興費】	13,816,624円	7,000円	0円	0円	13,809,624円																																															
授業等で必要となる教材備品、図書、教師用指導書等の購入、学校行事用のバスの借り上げ、及び安来市中学校体育連盟負担金、中学校教育研究会負担金、中学校生徒派遣交付金の支払いを行った。 また、遠距離通学の生徒に対して、広域生活バス定期券購入費用の補助を行った。広域生活バスが利用できない生徒に対しても年額12,000円以内の補助を行った。																																																				
【理科教育設備整備費等事業】	1,774,910円	887,000円	0円	0円	887,910円																																															
理科教育設備整備費等補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図った。																																																				
【部活動地域指導者活用支援事業】	4,905,986円	1,538,000円	0円	0円	3,367,986円																																															
専門的な指導者がいない中学校の部活動に、実技指導力を備えた地域の社会人指導者（地域指導者及び地域連携指導員）を派遣した。 対象校：計5校（全中学校） 運動部24名（野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、体操、ソフトテニス） 文化部2名（吹奏楽、弦楽）																																																				

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	子ども未来課				
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	75	幼稚園等管理費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	04 幼稚園費			
事業進捗度		—		目	01 幼稚園費			
当初予算額		29,726,000 円	目的	幼稚園・幼稚園型認定こども園の教育向上のため、必要経費を確保し運営の充実を図る。				
予算現額		26,386,000 円						
決算額 A		24,194,916 円						
財源内訳	国・県支出金	国 389,000 円						
	地方債	0 円						
	その他	使用料外 319,200 円						
	一般財源	23,486,716 円						
人件費コスト B		6.3人役 48,081,600 円				総事業費 A+B	72,276,516 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【幼稚園管理事業】 23,748,340円 389,000円 0円 319,200円 23,040,140円

園を運営していく上で必要な経費を確保し、園運営の充実を図った。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行した。

- 市内幼稚園・幼稚園型認定こども園
・入園児童数

(単位：人)

施設名	R2年度 (R2.5.1)	R3年度 (R3.5.1)	R4年度 (R4.5.1)	R5年度 (R5.5.1)	R6年度 (R6.5.1)
安来幼稚園	35	35	28	24	19
島田こども園	17	13	12	8	10
計	52	48	40	32	29

【給食費助成事業（市立幼稚園）】 446,576円 0円 0円 0円 446,576円

保護者から実費徴収される副食費について多子世帯の経済負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進するため、3人以上の子どもを育てている世帯の3人目以降の4・5歳児の副食費を免除した。

また、国の基準により給食費が免除となる児童の給食費について負担した。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	子ども未来課	
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	80	幼稚園等保健管理費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	04 幼稚園費
事業進捗度		—		目	01 幼稚園費
当初予算額		516,000 円	目的	幼稚園・幼稚園型認定こども園における園医と連携を図り、幼児の健康管理を充実する。	
予算現額		516,000 円			
決算額 A		481,708 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	負担金 4,930 円			
	一般財源	476,778 円			
人件費コスト B		0.2人役 1,526,400 円	総事業費 A+B	2,008,108 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【幼稚園保健管理事業】	481,708円	0円	0円	4,930円	476,778円

学校保健安全法施行規則に基づき、幼児の健康診断及び尿検査を実施し、入園児の健康状態を把握することで健康管理を行い、疾病の予防に努めた。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課				
中事業	40	青少年の健全育成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	12	社会教育総務費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	01 社会教育総務費			
当初予算額		4,949,000 円	目的	社会教育活動の活性化を進め、地域教育力の向上を図る。地域資源を活用した体験学習を通して青少年健全育成の推進を図る。				
予算現額		5,030,000 円						
決算額 A		4,874,611 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	諸収入 16,299 円						
	一般財源	4,858,312 円						
人件費コスト B		0.3人役 2,289,600 円				総事業費 A+B	7,164,211 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【社会教育事業】	4,051,911円	0円	0円	16,299円	4,035,612円

社会教育活動に携わる社会教育主事を雇用し、交流センターや外部講師等との連携によって、「大山自然体験」や「はじめての野外炊事」をやすぎ子ども探検隊事業として実施した。
 社会教育委員の会を開催し、次世代の育成や社会教育委員の活動について意見交換等を行い、地域教育力の向上に努めた。

●実施講座：6回 連携事業：1回 総参加者数：185人



夏休み自然体験「阿弥陀川沢登り」



星空観察会（木星）

【二十歳の集い開催事業】	822,700円	0円	0円	0円	822,700円
--------------	----------	----	----	----	----------

令和7年安来市二十歳の集いを二十歳の集い実行委員会に業務委託し、開催した。

- 期 日： 令和7年1月3日
- 会 場： 安来市総合文化ホール アルテピア
- 出席者： 281人（対象者345人）



式典会場の様子（アルテピア大ホール）



式典の様子

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課				
中事業	40	青少年の健全育成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	15	結集子育て協働プロジェクト事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	01 社会教育総務費			
当初予算額		1,567,000 円	目的	地域住民が積極的に教育や子育て支援に関わる環境づくりを進め、学校・家庭・地域住民の連携する仕組みを作ることで、社会全体の教育力向上を図る。				
予算現額		1,054,000 円						
決算額 A		908,021 円						
財源内訳	国・県支出金	2/3				603,000 円		
	地方債					0 円		
	その他	0 円						
	一般財源	305,021 円						
人件費コスト B		0.4人役				3,052,800 円	総事業費 A+B	3,960,821 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【結集子育て協働プロジェクト事業】	908,021円	603,000円	0円	0円	305,021円

学校支援・放課後支援・家庭教育支援を総合的に調整する地域コーディネーターを配置し、学校・地域・家庭が連携・協働により、地域全体で子育てに関わる仕組みづくりを行った。また、子育て支援に携わる地域人材のための研修を実施した。



子どもたちの育ちを支えるスキルアップ講座



地域学校連携・協働活動（伯太中学校畑指導）



家庭教育支援（親学プログラム）



放課後支援（夏休み体験）

					決算事項別明細書		P125	
大事業	70	参画・協働・行財政			担当部署		地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成			予算科目	会計	01	一般会計
小事業	10	公民館総務費				款	10	教育費
事業開始年度		令和6年度				項	05	社会教育費
事業進捗度		-				目	02	公民館費
当初予算額		3,371,000 円			目的	中央交流センター及び地区交流センターの共通する業務において入札契約等を包括的に行い、コスト削減や事務の効率化を図る。		
予算現額		3,371,000 円						
決算額 A		2,990,148 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債		0 円					
	その他		0 円					
	一般財源		2,990,148 円					
人件費コスト B		0.2人役	1,526,400 円		総事業費 A+B		4,516,548 円	
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【交流センター包括事業】 2,990,148円 0円 0円 0円 2,990,148円</p> <p>損害賠償責任保険への加入や消防用設備保守点検業務委託等、中央交流センター及び地区交流センターで共通する業務を包括的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公民館総合保障制度損害賠償責任保険料 1,258,200円 ● 消防用施設保守点検業務委託料 1,171,500円 ● 甲種防火管理再講習受講料 3名 21,000円 ● 支障木伐採・除草作業 131,670円 ● その他 407,778円 								

					決算事項別明細書		P125	
大事業	70	参画・協働・行財政			担当部署		地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成			予算科目	会計	01	一般会計
小事業	15	中央公民館管理費				款	10	教育費
事業開始年度		令和6年度				項	05	社会教育費
事業進捗度		-				目	02	公民館費
当初予算額		26,758,000 円			目的	中央交流センターの維持管理を行い、生涯学習の場を提供するとともに、地区交流センターの包括的支援を行う。		
予算現額		27,524,000 円						
決算額 A		26,916,608 円						
財源内訳	国・県支出金		0 円					
	地方債		0 円					
	その他		使用料外	2,324,773 円				
	一般財源		24,591,835 円					
人件費コスト B		0.3人役	2,289,600 円		総事業費 A+B		29,206,208 円	
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【中央交流センター維持管理事業】 26,916,608円 0円 0円 2,324,773円 24,591,835円</p> <p>安来、広瀬、伯太の3つの中央交流センターにて、保守点検業務委託等、施設の維持管理を行った。</p>								

大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署	地域振興課				
中事業	20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	地区公民館管理費			款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度			項	05 社会教育費			
事業進捗度		-			目	02 公民館費			
当初予算額		205,829,000 円		目的	地域コミュニティの中核である地区交流センターを中心に、地域振興事業や社会教育活動を通じて地域力の醸成を図る。				
予算現額		209,472,000 円							
決算額 A		203,651,250 円							
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債	過疎	13,500,000 円						
	その他	基金外	37,156,215 円						
	一般財源		152,995,035 円						
人件費コスト B		0.6人役	4,579,200 円				総事業費 A+B	208,230,450 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地区交流センター維持管理運営事業】	203,651,250円	0円	13,500,000円	37,156,215円	152,995,035円

各地区交流センターの施設管理及び特色ある地域づくりを行うための地域振興事業を行った。地域づくりの拠点となる交流センターが、地域住民と共に地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた学習実践活動を行った。

● 事業費内訳

- ・ 会計年度任用職員 148,509,958円
地区交流センター24館の館長及び主事に係る報酬、手当、保険料 外
- ・ 運営委託料
 - 活性化事業委託料（事業） 13,800,000円
 - 活性化事業委託料（管理） 32,964,000円
- ・ 施設修繕 3,710,033円
- ・ その他 4,667,259円



「笹巻づくり」（赤江交流センター）



幸盛祭（広瀬交流センター）



大塚おどり（大塚交流センター）



赤屋元旦マラソン（赤屋交流センター）

大事業	70	参画・協働・行財政	担当部署	地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	中央公民館整備費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		-		目	02 公民館費
当初予算額		6,962,000 円	目的	中央交流センター施設の整備及び改修工事を行う。	
予算現額		7,305,000 円			
決算額 A		7,087,300 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎 3,200,000 円			
	その他	基金 3,800,000 円			
	一般財源	87,300 円			
人件費コスト B		0.2人役 1,526,400 円	総事業費 A+B	8,613,700 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【中央交流センター整備事業】	7,087,300円	0円	3,200,000円	3,800,000円	87,300円
----------------	------------	----	------------	------------	---------

中央交流センターを適正に管理し安全に利用するため、施設の改修等を行った。

● 実施事業及び事業費

- ・ 安来中央交流センター屋根改修工事設計業務委託 2,310,000円
- ・ 広瀬庁舎用地測量業務委託 3,842,300円
- ・ 安来中央交流センター高圧気中開閉器更新工事 935,000円



安来中央交流センター屋根の様子

大事業	70	参画・協働・行財政	担当部署	地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	地区公民館整備費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		—		目	02 公民館費
当初予算額		7,328,000 円	目的	地区交流センター施設の整備及び改修工事を行う。	
予算現額		7,328,000 円			
決算額 A		5,808,000 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎 5,800,000 円			
	その他	0 円			
	一般財源	8,000 円			
人件費コスト B		0.3人役 2,289,600 円	総事業費 A+B	8,097,600 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地区交流センター施設整備事業】	5,808,000円	0円	5,800,000円	0円	8,000円
地区交流センターを適正に管理し安全に利用するため、施設の改修等を行った。					
● 実施事業及び事業費の内訳（市内交流センター3館）					
・ 大塚交流センター外部床タイル他改修工事	1,848,000円				
・ 社日交流センターフェンス改修工事	1,815,000円				
・ 西谷交流センタートイレ改修工事	2,112,000円				
・ アスベスト分析検査費	33,000円				

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	30	生涯学習の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	15	市立図書館費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	03 図書館費			
当初予算額		89,281,000 円	目的	生涯学習の場として市民の知る権利を保障する。また、図書、記録その他必要な資料を収集・整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究レクリエーション等に資する。				
予算現額		86,628,000 円						
決算額 A		85,295,064 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎 14,600,000 円						
	その他	諸収入外 340,593 円						
	一般財源	70,354,471 円						
人件費コスト B		1.2人役 9,158,400 円				総事業費 A+B	94,453,464 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【市立図書館費】 70,671,664円 0円 0円 340,593円 70,331,071円

やすぎ・はくた・ひろせの各図書館（室）でさまざまな事業に取り組み、相互に巡回を通して連携を図った。
 ●開館日数 やすぎ：292日 はくた：263日 ひろせ：277日 ●登録者数 14,976人（新規登録者数393人）
 ●個人貸出冊数：186,753冊 団体貸出：35,879冊 市民一人当たり：5.4冊貸出（個人貸出のみ）

主な事業

- イベントや講座を開催し、利用者の増加を図った。
- 各施設への巡回図書等の事業を行い利用者サービスの向上に努めた。
- 令和5年度に試行的に変更していたやすぎ図書館の開館時間を正式に1時間繰り上げた。
朝の早い時間から図書館に寄っていただけるようになり、利用促進につながった。
- ・市民向け行事 安来探訪（4回）、まなべ～る講座（3回）、コンサート（1回）、クリスマス会（2回）外
- ・読書普及活動 おはなしの会（149回）、子ども読書会（3回） 外
- ・展示 特別展示 尼子写真クラブ写真展、パステルアート展、広瀬和紙 彩工房四季漉展 外
常設展示 お薦め図書、新着図書、話題の図書、書評に載った図書など12回
- ・館外事業 小学校・交流センター等でのストーリーテリング、読み聞かせ
- ・施設への巡回図書 認定こども園、幼稚園、交流センターなど53施設 貸出数：25,090冊
- ・職場体験・施設見学の受入れ 職場体験：3回
- ・広報 広報誌「メイプルつうしん」の発行（年6回）、図書館Instagramでの情報発信（随時更新）
広報やすぎで新刊図書や各種お知らせについて掲載（毎月）

■図書館別来館者数(人)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
やすぎ図書館	88,456	91,215	95,990
はくた中央図書室	16,824	15,820	16,517
ひろせ図書室	5,376	5,403	5,091
計	110,656	112,438	117,598

■図書館別貸出数（冊）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
やすぎ図書館	183,395	175,312	173,785
はくた中央図書室	40,783	37,174	34,422
ひろせ図書室	18,850	22,361	14,425
計	243,028	234,847	222,632

■図書館別蔵書数（冊）

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
やすぎ図書館	166,297	165,235	166,531
はくた中央図書室	78,735	80,494	81,832
ひろせ図書室	19,425	19,945	20,713
計	264,457	265,674	269,076



開館20周年記念コンサートの様子



クリスマス会の様子

【図書館改修事業】 14,623,400円 0円 14,600,000円 0円 23,400円

●外壁防水改修工事

やすぎ図書館外壁全体の改修工事（シーリング打替え）を行った。



シーリング打替え作業



シーリング打替え後

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	10	総合文化ホール整備事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		—		目	04 文化芸術施設費			
当初予算額		34,516,000 円	目的	「演じる」「観る・聴く」「集う」を基本理念とした総合文化ホール「アルテピア」の整備・改修を行い、安来市の活性化につながる「まちづくり」「ひとづくり」の拠点施設となるよう目指す。				
予算現額		30,630,000 円						
決算額 A		30,185,100 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎 27,900,000 円						
	その他	0 円						
	一般財源	2,285,100 円						
人件費コスト B		0.7人役 5,342,400 円				総事業費 A+B	35,527,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【総合文化ホール整備事業】	30,185,100円	0円	27,900,000円	0円	2,285,100円

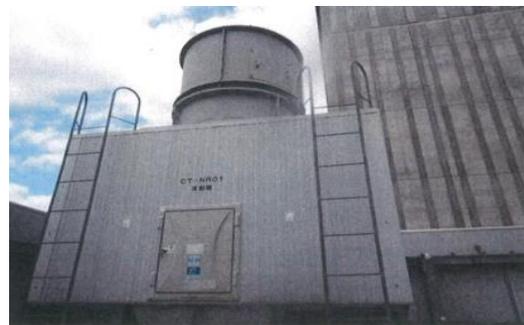
館内LED照明の計画的な交換修繕や、経年劣化による修繕を行った。
また、小ホール演出照明器具のLED化を行った。

(修繕料)

- バイオマスボイラ補給水・冷却水配管修繕 6,270,000円
- 冷却塔修繕 2,178,000円
- 中央監視機器修繕 2,860,000円
- 舞台機構設備UPS交換修繕 983,400円



バイオマスボイラ補給水・冷却水配管修繕
(器具費)



冷却塔修繕 (ボイラモーター交換)

- 小ホール演出照明器具LED化 (2/4期目) 15,230,000円
- ジョーゼット幕 (舞台演出用装飾幕) 979,000円



小ホール演出照明器具LED化



ジョーゼット幕

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	15	総合文化ホール運営費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	04 文化芸術施設費			
当初予算額		171,225,000 円	目的	「演じる」「観る・聴く」「集う」を基本理念とした総合文化ホール「アルテピア」が、「まちづくり」「ひとづくり」の拠点施設となるよう管理運営を行う。				
予算現額		176,325,000 円						
決算額 A		174,500,208 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	諸収入 11,095,681 円						
	一般財源	163,404,527 円						
人件費コスト B		0.7人役 5,342,400 円				総事業費 A+B	179,842,608 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【総合文化ホール運営事業】 159,793,848円 0円 0円 6,111,681円 153,682,167円

総合文化ホール「アルテピア」の管理運営を指定管理者に委託し各種事業を行った。

安来今昔物語やワークショップ事業においては、市民が事業に直接参加・体験できる場を創出した。また、アウトリーチ事業、あるてびあ絵本市などの普及・支援を目的とした事業では、文化芸術に触れる機会の少ない層へのアプローチを行った。

令和6年度入館者数：125,307人

アルテピア主催・共催事業（抜粋 ※自主採算事業除く。）

（単位：人）

開催日	公演等	来場者
通年	ワークショップ事業	89
通年	アウトリーチ事業	487
R6.6.14	子どもたちのための音楽鑑賞会 航空自衛隊 西部航空音楽隊	1,304
R6.6.15	新安来市発足20周年記念事業 スマイルコンサートinやすぎ2024	792
R6.7.7	山陰フィルわくわくファミリーコンサートinアルテピア	950
R6.8.2	デビュー55周年記念 南こうせつコンサートツアー2024～神田川～	895
R6.9.15	安来市合併20周年記念式典2部 基調講演	500
R6.9.21	HAGANE MUSIC 2024 PAN NOTE MAGIC	229
R6.9.23	ハラミちゃん生音コンサート2024～極上生肉の調べ～	941
R6.10.6	なかうみ交響楽団 第17回講演会	450
R6.11.9	DRUM TAO 2024「FUTURE」	700
R6.11.23	公共ホール音楽活性化事業 サックスファミリーコンサート	115
R6.11.23	HAGANEツリー 点灯祭2024	100
R6.12.8	HAGANE MUSIC 2024 KRAJA（クラヤ）	147
R7.2.2	安来今昔物語	138
R7.2.9	桂文珍 独演会	612
R7.2.23	あるてびあ絵本市 2025	800

【総合文化祭、美術展開催事業】 1,200,000円 0円 0円 0円 1,200,000円

●第20回安来市総合文化祭（開催期間 R6.10.11（金）～11.9（土））

芸術文化を愛好する市民に気軽に発表できる機会と場を提供するとともに、作品を鑑賞すること等で芸術文化への関心を高めることを目的として開催した。安来総合文化ホールなどで展示部門や文芸部門、ステージ部門など13部門で多彩に開催し、出展・参加者数400人、来場者数872人を数えた。

●第18回安来市美術展（開催期間 R6.9.7（土）～9.12（木））

広く市民から美術作品を募り、そのうちから優れた作品を展示して、発表と鑑賞の機会をつくり、美術、文化の振興に寄与するため開催した。安来市総合文化ホールにおいて洋画、デザイン、写真、日本画・水墨画部門の展示を行い、出展者数62人、来場者数296人を数えた。



安来市総合文化祭



安来市美術展

【子どもたちのための文化芸術鑑賞事業】 3,500,000円 0円 0円 0円 3,500,000円

市内小中学生を対象とした「子どもたちのための音楽鑑賞会」を開催し、1,304人の参加があった。質の高い音楽に触れる機会を創出することで、豊かな創造力を培うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、市の文化振興につなげた。



子どもたちのための音楽鑑賞会（航空自衛隊 西部航空音楽隊）

【地域の文化・芸術活動事業】 4,984,000円 0円 0円 4,984,000円 0円

一般財団法人地域創造及び一般財団法人自治総合センターの助成事業を利用した事業に対し、交付金を交付した。

事業名	申請団体
安来スティールパン事業（一般財団法人地域創造）	AJ共同事業体
安来今昔物語（一般財団法人自治総合センター）	AJ共同事業体

【その他文化振興事業】 5,022,360円 0円 0円 0円 5,022,360円

総合文化ホール施設利用料（安来市利用分）外

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	和鋼博物館費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	04 文化芸術施設費			
当初予算額		84,776,000 円	目的	和鋼博物館を中心に鉄に関わる歴史、文化等に関する資料の収集・保管・展示及び調査研究を行い、市民の利用に供し、文化の発展に資する。				
予算現額		80,050,000 円						
決算額 A		77,420,335 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎 29,500,000 円						
	その他	基金外 8,114,462 円						
	一般財源	39,805,873 円						
人件費コスト B		1.4人役 10,684,800 円				総事業費 A+B	88,105,135 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【和鋼博物館管理運営業務】 40,760,731円 0円 0円 2,114,462 38,646,269円

- 三本柱である「たたら」「ハガネ」「日本刀」の事業及び研究を行った。
- 幅広い世代の住民参加を目的として公開講座や企画展、イベントを実施した。
- 企業、小中学校・高校・大学、鉄の道文化圏、観光業界、博物館業界、友の会など関係先と連携した事業を行った。
- 公式ホームページをリニューアルし、情報発信の強化を図った。
- 入館者数は昨年度の9,497人に比べ11%減少し8,423人となった。空調設備改修に伴う部分閉室（6か月）とエントランスホール照明のLED更新に伴う休館（1か月）が影響した。
- 施設利用者数は昨年度の1,003人に比べ4.6倍に増え4,638人となった。昨年度より博物館に拠点移動した安来市文化協会の活動の影響が大きい。

【学芸関係事業】 974,474円 0円 0円 0円 974,474円

- パネル展「ハガネにまつわるお仕事図鑑」（来館者数2,507人）
- 古代たたら復元操業（参加者数209人・観覧813人（延べ））
- 公開講座
 - ①「現場から読みとる！たたらが息づく先端技術」プロテリアル 安来工場見学及び講演（参加者数109人）
 - ②「たたら製鉄の守護神 歴史と信仰の足跡をたどる」金屋子神社周辺散策及び講演（参加者数30人）
 - ③包丁研ぎ教室（参加者数21人）
 - ④夏休みこども教室 鉄穴流し体験（参加者数12人）
 - ⑤「和鋼博物館友の会30周年記念講演」講演及び交流会（参加者数75人）



パネル展



第18回古代たたら復元操業



鉄穴流し体験

【和鋼博物館改修事業】 35,685,130円 0円 29,500,000円 6,000,000円 185,130円

- 建物・設備 長寿命化計画を策定し、その計画等をもとに空調及び照明設備の改修を行った。
 - ①和鋼博物館第3展示室・俵記念室空調設備改修工事
 - ②和鋼博物館第3展示室・俵記念室空調設備改修工事監理業務委託
 - ③和鋼博物館エントランスホールほか照明設備改修工事
- 展示 研究者、観光団体などから成る活用検討会議を組織し、展示改修の基本設計を行った。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	25	文化学習館費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		—		目	04 文化芸術施設費			
当初予算額		16,422,000 円	目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、文化の充実と振興を推進するため、はくた文化学習館の施設の維持管理を行う。				
予算現額		16,422,000 円						
決算額 A		14,823,513 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	緊防 9,800,000 円						
	その他	0 円						
	一般財源	5,023,513 円						
人件費コスト B		0.2人役 1,526,400 円				総事業費 A+B	16,349,913 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【文化学習館維持管理事業】	14,823,513円	0円	9,800,000円	0円	5,023,513円
---------------	-------------	----	------------	----	------------

はくた文化学習館について保守点検の業務委託等、施設の維持管理を行った。また、図書室における運転不良の空調機について、利用者が快適に施設を利用できるよう改修を行った。

● 事業費の内訳

- ・はくた文化学習館図書室空調設備改修工事設計業務 1,265,000円
- ・はくた文化学習館図書室空調設備改修工事 8,595,400円
- ・光熱水費 3,384,328円
- ・その他委託
 - 機械警備保守・清掃委託 888,690円
 - 消防用設備保守点検 154,000円
 - 自家用電気工作物保安全管理 277,893円
- ・その他 258,202円

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	30	歴史・民俗資料館費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	04 文化芸術施設費			
当初予算額		8,311,000 円	目的	展示品・収蔵品の保護に努め、将来にわたる文化伝承に資するとともに市民文化の醸成を図る。				
予算現額		8,411,000 円						
決算額 A		7,682,245 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	1,041,012 円 <small>使用料外</small>						
	一般財源	6,641,233 円						
人件費コスト B		1.0人役 7,632,000 円				総事業費 A+B	15,314,245 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【歴史資料館事業】	6,454,507円	0円	0円	1,040,452円	5,414,055円
-----------	------------	----	----	------------	------------

安来市の古代から近代までの歴史について体系的に理解しやすい展示環境を整え、市民や観光客、学校教育での地域学習が進むように努めるとともに、歴史資料の保存管理を進めた。また、4月に特別展示コーナーの上部にレールを設置、壁面の修繕を行い、展示方法の幅を広げて企画展を通年で実施した。

●特別展示

合併20周年特別展示

(上半期)発掘調査で振り返る新安来市(前期)

(下半期)発掘調査で振り返る新安来市(後期)

●歴史資料館入館者数

一般： 4,583名

小中学校・高校・大学： 374名

合計： 4,957名

※1階富田城跡ガイダンスコーナー利用者

25,378名

(カウンターデータより)



合併20周年特別展示
「発掘調査で振り返る新安来市」

【民俗資料館事業・民俗資料館改修事業】	1,227,738円	0円	0円	560円	1,227,178円
---------------------	------------	----	----	------	------------

安来市の昔の暮らしと生業にかかわる民俗資料の保存管理を進めるとともに、市民や観光客、学校教育での地域学習が進むような展示に努めた。

あわせて、民俗資料館改修事業に向けた資料整理を実施した。

《R6年度学校教育利用実績》 4校 51名

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	40	文化財総務費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		-		目	05 文化財保護費
当初予算額		2,510,000 円	目的	歴史資料である指定文化財等の保護、活用をすることにより、地域づくり、まちづくりの振興に寄与する。	
予算現額		2,659,000 円			
決算額 A		2,438,335 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	2,438,335 円			
人件費コスト B		0.9人役	6,868,800 円	総事業費 A+B	9,307,135 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【文化財総務事業】	449,335円	0円	0円	0円	449,335円
-----------	----------	----	----	----	----------

市内の文化財の保護と活用を行うため、安来市文化財保護委員等の専門的な知見を通じて、調査等を行った。また、安来市歴史文化講座を2回開催し、情報発信を行った。

《安来市歴史文化講座》

- 第1回 「歴史を動かした気候変動 - 過去数千年間の寒冷化と温暖化 -」
講師：齋藤 文紀 氏（島根大学エスチュアリー研究センター特任教授）
令和6年9月28日 和鋼博物館映像ホール 聴講者：40名
- 第2回 「富田城をめぐる攻防と戦国社会」
講師：長谷川 博史 氏（島根大学教育学部教授）
令和7年3月9日 広瀬中央交流センター 聴講者：78名



第2回 歴史文化講座の様子

【安来市文化財保存事業】	1,989,000円	0円	0円	0円	1,989,000円
--------------	------------	----	----	----	------------

重要文化財清水寺防災設備整備事業と、重要文化財雲樹寺四脚門保存修理事業に対し補助金を交付した。

●重要文化財清水寺防災設備整備事業

- (事業費) 7,180,376円
- 国補助金 3,590,000円 (事業費の1/2)
- 県補助金 1,196,000円 (事業費-国補助額の1/3)
- 市補助金 1,196,000円 (同上)
- 事業者 1,198,376円 (同上)

●重要文化財雲樹寺四脚門保存修理事業

- (事業費) 9,514,000円
- 国補助金 7,135,000円 (事業費の3/4)
- 県補助金 793,000円 (事業費-国補助額の1/3)
- 市補助金 793,000円 (同上)
- 事業者 793,000円 (同上)

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	50	発掘調査事業費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		-		目	05 文化財保護費
当初予算額		16,959,000 円	目的	開発予定地の分布・試掘調査を行い埋蔵文化財の有無の確認や重要遺跡についてその範囲・性格等の確認をすることで、各種開発事業を円滑に進める。	
予算現額		2,412,000 円			
決算額 A		1,991,290 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	1,991,290 円			
人件費コスト B		1.0人役 7,632,000 円	総事業費 A+B	9,623,290 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【市内遺跡発掘調査等】	1,965,906円	0円	0円	0円	1,965,906円
-------------	------------	----	----	----	------------

各種開発事業を円滑に進めるため、開発予定地の試掘調査を実施。広瀬複合施設建設に伴う調査及び独松山霊苑急傾斜地対策工事予定地の調査を行い、遺跡があることを確認した。



広瀬複合施設建設に伴う埋蔵文化財試掘調査状況



独松山霊苑急傾斜地対策工事予定地試掘調査状況

【文化財整理作業室管理事業】	25,384円	0円	0円	0円	25,384円
----------------	---------	----	----	----	---------

発掘調査等によって出土した遺物等の記録保存のため、整理作業を進める作業室の管理を行った。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	55	史跡公園管理費		款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費
事業進捗度		-		目	05 文化財保護費
当初予算額		9,238,000 円	目的	史跡公園等の管理運営を行い、来訪者の利便性の確保と文化財の活用を図る。	
予算現額		9,091,000 円			
決算額 A		8,994,035 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	20,480 円			
	一般財源	8,973,555 円			
人件費コスト B		0.7人役	5,342,400 円	総事業費 A+B	14,336,435 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【古代出雲王陵の丘造山公園指定管理事業】	2,302,000円	0円	0円	0円	2,302,000円

古代出雲王陵の丘造山公園の管理を地元団体に依頼することにより、行政と地域が一体となった地域振興を展開し、同公園の有効利用を進めた。

【史跡公園管理事業】	5,890,355円	0円	0円	20,480円	5,869,875円
------------	------------	----	----	---------	------------

史跡公園を保護活用するための草刈り、トイレ清掃などの維持管理経費。市内にある17か所の史跡等の清掃管理作業を行った。

● 富田城跡登山者数 単位：人

4月	2,050	10月	1,881
5月	2,038	11月	1,976
6月	1,034	12月	882
7月	562	1月	1,135
8月	1,702	2月	1,454
9月	1,852	3月	1,395
		合計	17,961

※七曲り下カウンターデータ



富田城跡公園 三ノ丸草刈り整備状況

【史跡公園整備事業】	801,680円	0円	0円	0円	801,680円
------------	----------	----	----	----	----------

史跡公園の利便性を高めるための整備。古代出雲王陵の丘造山公園の説明板版面を3枚修繕した。



展望の広場



2号墳・4号墳



3号墳

大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署	人権施策推進課				
中事業	30	人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進		予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	人権同和教育総務費			款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度			項	05 社会教育費			
事業進捗度		-			目	06 人権同和教育費			
当初予算額		8,833,000 円		目的	人権・同和問題の早期解決、あらゆる人権課題の啓発のため、地域と行政が一体となった取組を推進する。				
予算現額		8,972,000 円							
決算額 A		8,875,798 円							
財源内訳	国・県支出金	県定額	189,000 円						
	地方債		0 円						
	その他	諸収入	37,656 円						
	一般財源		8,649,142 円						
人件費コスト B		1.3人役	9,921,600 円				総事業費 A+B	18,797,398 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【人権同和教育事業】	8,875,798円	189,000円	0円	37,656円	8,649,142円

- 人権同和教育指導講師による啓発活動の実施
地域や企業等の要望に応える形で工夫をしながら啓発活動を実施した。
・講座実施回数：25回 ・講座参加者数：640名
- 安来市人権・同和教育推進協議会の活動
市内の事業所や企業、団体等で組織する協議会でイベントや研修会を実施し、様々な人権課題について啓発を行った。
- 主な事業
 - ・人権フェスティバル「つなげて未来や」の開催 ※しまね人権フェスティバル2024と同時開催
期日：令和6年12月1日 会場：安来市総合文化ホール・アルテピア 参加者数：820人
 - ・安来市企業等人権・同和问题研修会の開催
期日：令和6年8月29日 会場：安来商工会議所 参加者数：50人
 - ・各地区人権・同和教育推進協議会の活動支援
 - ・安来市職員人権・同和教育研修の実施



指導講師による出前講座



人権フェスティバルでの講演会



安来市企業等人権・同和问题研修会



安来市職員人権・同和教育研修

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化課				
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	60	文化振興費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	05 社会教育費			
事業進捗度		-		目	07 文化振興費			
当初予算額		15,650,000 円	目的	安来市の文化・芸術活動の振興を図り、市民の文化向上に資する。				
予算現額		13,088,000 円						
決算額 A		12,764,118 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	過疎 800,000 円						
	その他	0 円						
	一般財源	11,964,118 円						
人件費コスト B		0.6人役 4,579,200 円				総事業費 A+B	17,343,318 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【安来市加納美術館管理事業】	12,764,118円	0円	800,000円	0円	11,964,118円

（公財）加納美術振興財団を指定管理者として、施設の維持管理及び運営を委託している。著名絵本作家の原画展をはじめとした企画展など、積極的な運営がなされている。主要テーマの一つとしている平和に関する展示、教育普及活動では、市内外の学校の利用が進み、好評を得ている。また、物販や呈茶を始めとした指定管理者独自の活動により、利用者満足度を高めている。美術品管理のための環境整備を継続し、C展示室の外壁修繕により、温度管理状況が大幅に改善した。

- 展示 企画展5件を実施した（美術工芸4件、絵画など1件）。入館者数5,860人（昨年度5,448人）。
- 資料保存 資料の保存管理を進め、経年劣化などの状態確認、修復の検討を実施した。
- 教育普及 企画展関連講演会、出前講座（参加1,586人）、名碗を愉しむ会（参加68人）などを実施した。
- 情報発信 印刷物、電子、メディア出演など様々な手段で広報を進め、周知宣伝を実施した。
- 外部連携 美術館、文化、観光などの関係先と連携、共同を推進した。
- 建物設備 修繕3件を実施した（柱上高圧交流負荷開閉器交換、空調冷媒配管改修、C展示室外壁修繕）。展示用スポットライト7基を購入した（4期中1期目）。



企画展展示風景「こうげいやすぎ（壺）」



企画展見学風景「今願うー世界の平和を」
平和学習での利用、安来市立第二中学校



教育普及事業風景
「和歌山静子絵本原画展」講演会



建物設備整備事業
C展示室外壁修繕（サンシェード設置）

						決算事項別明細書		P129																																																												
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		地域振興課																																																													
中事業	50	スポーツ活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計																																																												
小事業	10	保健体育総務費				款	10	教育費																																																												
事業開始年度		令和6年度				項	06	保健体育費																																																												
事業進捗度		-				目	01	保健体育総務費																																																												
当初予算額		116,523,000 円			目的	市民が自主的にスポーツや運動に取り組み、交流を深める機会を提供し、地域づくりとスポーツ活動の推進を図る。																																																														
予算現額		120,000,000 円																																																																		
決算額 A		118,582,103 円																																																																		
財源内訳	国・県支出金		0 円																																																																	
	地方債		0 円																																																																	
	その他	基金外	36,319,399 円																																																																	
	一般財源		82,262,704 円																																																																	
人件費コスト B		1.1人役	8,395,200 円							総事業費 A+B		126,977,303 円																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【スポーツ推進審議会審議事業】 第3期安来市スポーツ推進計画策定に向けた準備等を行った。（1回開催）</td> <td>38,400円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>38,400円</td> </tr> <tr> <td>【スポーツ・文化全国大会等出場激励金交付事業】 スポーツ競技・文化活動の国際大会及び全国大会に出場（出展）する個人及び団体に対して安来市スポーツ・文化全国大会等出場激励金を交付した。（国内大会 個人15件・団体14件：国際大会 個人3件）</td> <td>870,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>870,000円</td> </tr> <tr> <td>【スポーツ推進委員活動事業】 安来市スポーツ推進委員を38名委嘱し、地域のスポーツ活動において積極的にリーダーシップと指導力を発揮してもらうため、委員が組織する連絡協議会で研修等を行い、自らの意識改革とスキルアップを図った。また、委員の主導による障がい者スポーツの普及や安来市体力テスト等を行った。</td> <td>1,352,600円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>10,000円</td> <td>1,342,600円</td> </tr> <tr> <td>【国スポ・インターハイ準備事業】 令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催され、安来市は「フェンシング」競技の開催地となる。また令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催する予定である。 大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進めた。令和6年度はインターハイ安来市実行委員会を立ち上げ、大会視察等を行った。</td> <td>11,680,508円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>7,100,360円</td> <td>4,580,148円</td> </tr> <tr> <td>【eスポーツ機会創出事業】 年齢や性別、障がいの有無等関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを開催し、関係人口の拡大や地域の活性化に努めた。本イベントは、市内のジュニア世代を主なターゲットとするが、高齢者も参加され、世代間交流を深めた。また、友好交流都市・台湾新店区とのeスポーツ対戦で国際交流を行った。</td> <td>990,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>900,000円</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>【体育施設指定管理事業】 体育施設の管理運営を指定管理者に委託し、スポーツ事業の促進と施設の利用者増を図った。</td> <td>90,034,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>15,609,039円</td> <td>74,424,961円</td> </tr> <tr> <td>【安来市スポーツ協会補助事業】 安来市スポーツ協会に補助金を交付し、市内スポーツの競技力向上、スポーツ・レクリエーション活動の推進に資する事業を行うことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図った。</td> <td>12,800,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>12,700,000円</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>【その他スポーツ振興事業】 スポーツ指導者研修会の開催等を行った。</td> <td>816,595円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>816,595円</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【スポーツ推進審議会審議事業】 第3期安来市スポーツ推進計画策定に向けた準備等を行った。（1回開催）	38,400円	0円	0円	0円	38,400円	【スポーツ・文化全国大会等出場激励金交付事業】 スポーツ競技・文化活動の国際大会及び全国大会に出場（出展）する個人及び団体に対して安来市スポーツ・文化全国大会等出場激励金を交付した。（国内大会 個人15件・団体14件：国際大会 個人3件）	870,000円	0円	0円	0円	870,000円	【スポーツ推進委員活動事業】 安来市スポーツ推進委員を38名委嘱し、地域のスポーツ活動において積極的にリーダーシップと指導力を発揮してもらうため、委員が組織する連絡協議会で研修等を行い、自らの意識改革とスキルアップを図った。また、委員の主導による障がい者スポーツの普及や安来市体力テスト等を行った。	1,352,600円	0円	0円	10,000円	1,342,600円	【国スポ・インターハイ準備事業】 令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催され、安来市は「フェンシング」競技の開催地となる。また令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催する予定である。 大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進めた。令和6年度はインターハイ安来市実行委員会を立ち上げ、大会視察等を行った。	11,680,508円	0円	0円	7,100,360円	4,580,148円	【eスポーツ機会創出事業】 年齢や性別、障がいの有無等関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを開催し、関係人口の拡大や地域の活性化に努めた。本イベントは、市内のジュニア世代を主なターゲットとするが、高齢者も参加され、世代間交流を深めた。また、友好交流都市・台湾新店区とのeスポーツ対戦で国際交流を行った。	990,000円	0円	0円	900,000円	90,000円	【体育施設指定管理事業】 体育施設の管理運営を指定管理者に委託し、スポーツ事業の促進と施設の利用者増を図った。	90,034,000円	0円	0円	15,609,039円	74,424,961円	【安来市スポーツ協会補助事業】 安来市スポーツ協会に補助金を交付し、市内スポーツの競技力向上、スポーツ・レクリエーション活動の推進に資する事業を行うことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図った。	12,800,000円	0円	0円	12,700,000円	100,000円	【その他スポーツ振興事業】 スポーツ指導者研修会の開催等を行った。	816,595円	0円	0円	0円	816,595円					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																																																										
【スポーツ推進審議会審議事業】 第3期安来市スポーツ推進計画策定に向けた準備等を行った。（1回開催）	38,400円	0円	0円	0円	38,400円																																																															
【スポーツ・文化全国大会等出場激励金交付事業】 スポーツ競技・文化活動の国際大会及び全国大会に出場（出展）する個人及び団体に対して安来市スポーツ・文化全国大会等出場激励金を交付した。（国内大会 個人15件・団体14件：国際大会 個人3件）	870,000円	0円	0円	0円	870,000円																																																															
【スポーツ推進委員活動事業】 安来市スポーツ推進委員を38名委嘱し、地域のスポーツ活動において積極的にリーダーシップと指導力を発揮してもらうため、委員が組織する連絡協議会で研修等を行い、自らの意識改革とスキルアップを図った。また、委員の主導による障がい者スポーツの普及や安来市体力テスト等を行った。	1,352,600円	0円	0円	10,000円	1,342,600円																																																															
【国スポ・インターハイ準備事業】 令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催され、安来市は「フェンシング」競技の開催地となる。また令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催する予定である。 大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進めた。令和6年度はインターハイ安来市実行委員会を立ち上げ、大会視察等を行った。	11,680,508円	0円	0円	7,100,360円	4,580,148円																																																															
【eスポーツ機会創出事業】 年齢や性別、障がいの有無等関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを開催し、関係人口の拡大や地域の活性化に努めた。本イベントは、市内のジュニア世代を主なターゲットとするが、高齢者も参加され、世代間交流を深めた。また、友好交流都市・台湾新店区とのeスポーツ対戦で国際交流を行った。	990,000円	0円	0円	900,000円	90,000円																																																															
【体育施設指定管理事業】 体育施設の管理運営を指定管理者に委託し、スポーツ事業の促進と施設の利用者増を図った。	90,034,000円	0円	0円	15,609,039円	74,424,961円																																																															
【安来市スポーツ協会補助事業】 安来市スポーツ協会に補助金を交付し、市内スポーツの競技力向上、スポーツ・レクリエーション活動の推進に資する事業を行うことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図った。	12,800,000円	0円	0円	12,700,000円	100,000円																																																															
【その他スポーツ振興事業】 スポーツ指導者研修会の開催等を行った。	816,595円	0円	0円	0円	816,595円																																																															

						決算事項別明細書		P129																									
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		地域振興課																										
中事業	50	スポーツ活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計																									
小事業	15	体育施設管理費				款	10	教育費																									
事業開始年度		令和6年度				項	06	保健体育費																									
事業進捗度		-				目	02	体育施設費																									
当初予算額		14,844,000 円			目的	スポーツ施設を適切に維持管理するとともに、利用者の利便性向上を図る。																											
予算現額		13,857,000 円																															
決算額 A		10,208,188 円																															
財源内訳	国・県支出金		0 円																														
	地方債		0 円																														
	その他	使用料外	709,927 円																														
	一般財源		9,498,261 円																														
人件費コスト B		0.5人役	3,816,000 円		総事業費 A+B		14,024,188 円																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【体育施設環境整備事業】 体育施設の除草等の環境整備や安全の確保に努めた。</td> <td>566,280円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>566,280円</td> </tr> <tr> <td>【体育施設修繕事業】 体育施設の維持管理、施設修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。 ● 管理施設 ・社会体育施設 安来球場、安来西部球場、伯太運動広場、安来南体育館、広瀬体育館、伯太体育館 広瀬勤労者体育センター、東比田運動広場、山佐運動広場 ・都市公園施設 安来公園（市民体育館）、安来運動公園（野球場、陸上競技場、庭球場、市民プール） 広瀬中央公園（野球場、総合体育館、庭球場、陸上競技場）</td> <td>884,362円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>884,362円</td> </tr> <tr> <td>【体育施設管理事業】 体育施設の保守管理を行い、適切な施設運営を行った。 ● 伯太体育館管理業務 ● 広瀬勤労者体育センター管理指導業務 ● 伯太体育館自家用電気工作物保安管理業務 ● 安来西部球場浄化槽維持管理業務 ● 光熱水費等管理経費 ● スポーツファシリティーズ保険 ● 島根県スポーツ施設協会負担金</td> <td>8,757,546円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>709,927円</td> <td>8,047,619円</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【体育施設環境整備事業】 体育施設の除草等の環境整備や安全の確保に努めた。	566,280円	0円	0円	0円	566,280円	【体育施設修繕事業】 体育施設の維持管理、施設修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。 ● 管理施設 ・社会体育施設 安来球場、安来西部球場、伯太運動広場、安来南体育館、広瀬体育館、伯太体育館 広瀬勤労者体育センター、東比田運動広場、山佐運動広場 ・都市公園施設 安来公園（市民体育館）、安来運動公園（野球場、陸上競技場、庭球場、市民プール） 広瀬中央公園（野球場、総合体育館、庭球場、陸上競技場）	884,362円	0円	0円	0円	884,362円	【体育施設管理事業】 体育施設の保守管理を行い、適切な施設運営を行った。 ● 伯太体育館管理業務 ● 広瀬勤労者体育センター管理指導業務 ● 伯太体育館自家用電気工作物保安管理業務 ● 安来西部球場浄化槽維持管理業務 ● 光熱水費等管理経費 ● スポーツファシリティーズ保険 ● 島根県スポーツ施設協会負担金	8,757,546円	0円	0円	709,927円	8,047,619円
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																												
【体育施設環境整備事業】 体育施設の除草等の環境整備や安全の確保に努めた。	566,280円	0円	0円	0円	566,280円																												
【体育施設修繕事業】 体育施設の維持管理、施設修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。 ● 管理施設 ・社会体育施設 安来球場、安来西部球場、伯太運動広場、安来南体育館、広瀬体育館、伯太体育館 広瀬勤労者体育センター、東比田運動広場、山佐運動広場 ・都市公園施設 安来公園（市民体育館）、安来運動公園（野球場、陸上競技場、庭球場、市民プール） 広瀬中央公園（野球場、総合体育館、庭球場、陸上競技場）	884,362円	0円	0円	0円	884,362円																												
【体育施設管理事業】 体育施設の保守管理を行い、適切な施設運営を行った。 ● 伯太体育館管理業務 ● 広瀬勤労者体育センター管理指導業務 ● 伯太体育館自家用電気工作物保安管理業務 ● 安来西部球場浄化槽維持管理業務 ● 光熱水費等管理経費 ● スポーツファシリティーズ保険 ● 島根県スポーツ施設協会負担金	8,757,546円	0円	0円	709,927円	8,047,619円																												

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課				
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	体育施設整備費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	06 保健体育費			
事業進捗度		—		目	02 体育施設費			
当初予算額		345,820,000 円	目的	老朽化した施設及び設備の改修を行い、安全・快適な施設を提供する。施設の利便性を向上させ、利用者人口の拡大を図る。				
予算現額		360,787,000 円						
決算額 A		303,482,482 円						
財源内訳	国・県支出金	国1/3				28,622,000 円		
	地方債	過疎外				268,600,000 円		
	その他					0 円		
	一般財源					6,260,482 円		
人件費コスト B		0.7人役				5,342,400 円	総事業費 A+B	308,824,882 円

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【体育施設整備事業】 303,482,482円 28,622,000円 268,600,000円 0円 6,260,482円

体育施設の施設改修及び整備を行い、安全で快適なスポーツ環境の提供に努めた。

●伯太体育館耐震改修工事

発災時の避難所にも指定される伯太体育館について、国の補助金（社会資本整備総合交付金）を受けて基準を満たすように耐震改修を行うと共に、特定天井落下の防止対策として天井改修を行った。あわせて、照明器具のLED化、受変電設備等の改修も実施した。※令和5年度と令和6年度の2か年で工事を実施。

[主な改修内容]

- 2階ブレース及びトラス柱脚用方杖取付、特定天井撤去、柱及び壁の補強
- 屋根カバー工法、防水改修、屋外鉄骨階段の再塗装
- アリーナ床の研磨及び再塗装
- 高圧受電設備及び非常用予備発電装置の機能回復、アリーナ照明LED化等



LED照明を点灯した様子



2階ブレース取付、特定天井撤去、壁補強、床改修等

●広瀬中央公園テニスコート改修工事

広瀬中央公園テニスコートは、6面あり、多くの利用がある。また、令和12年の第84回国民スポーツ大会の練習会場となる予定である。令和6年度は、既存の砂コート2面について、利用者のニーズを考慮し人工芝化した。



改修後のテニスコート

●安来市民体育館屋根防水改修工事

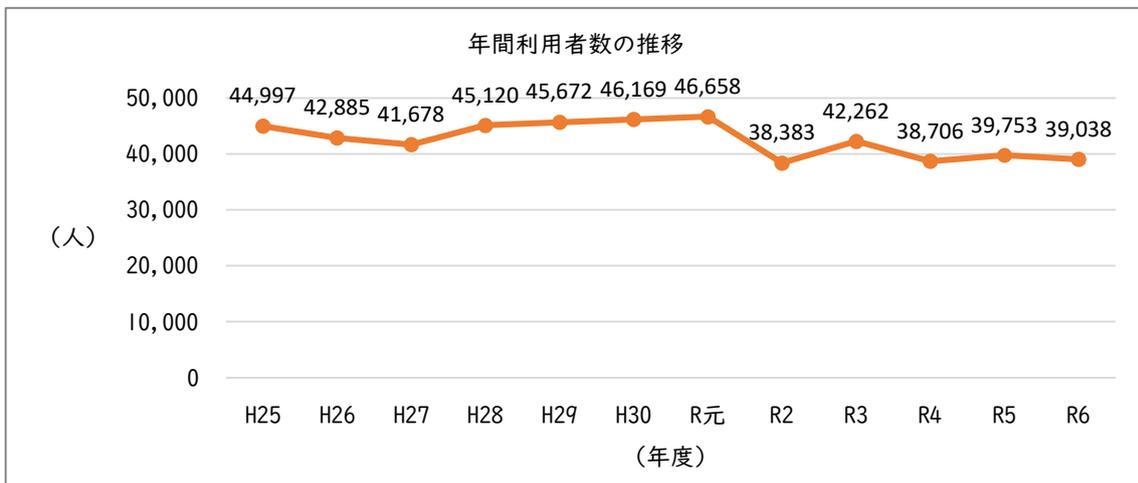
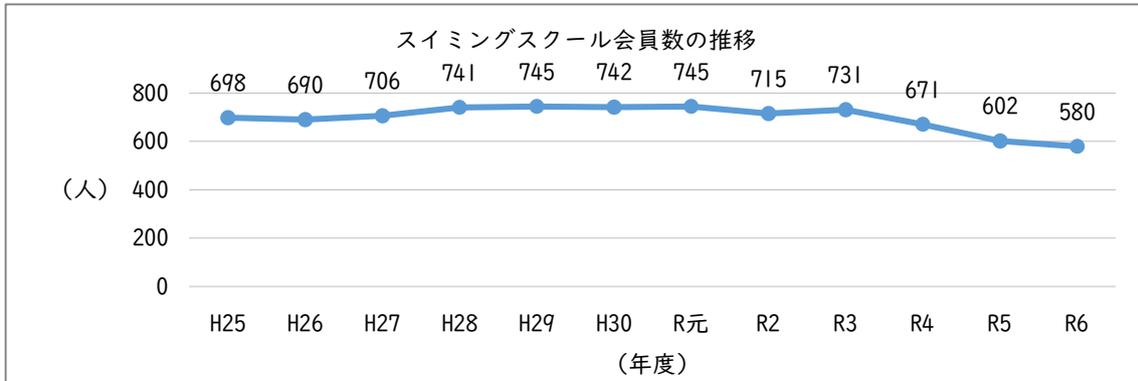
市民体育館は、令和7年度全国高等学校総合体育大会のフェンシング競技及び令和12年度第84回国民スポーツ大会（フェンシング、バレーボール競技）の会場となる予定である。体育館の屋根全体に亀裂ができて雨漏りが発生したため、令和5年度に応急的に修繕を実施したが、大雨の後はアリーナに落ちてくる状況であった。競技の実施に支障を来すことから、屋根の防水改修を実施した。※令和6年度、7年度の2か年で工事を実施。

※翌年度繰越額 工事請負費 35,032,000円

入札額が低入札基準に該当し、契約締結まで時間を要し、年度内完了が困難となったため。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課				
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	25	市民プール事業費		款	10 教育費			
事業開始年度		令和6年度		項	06 保健体育費			
事業進捗度		-		目	02 体育施設費			
当初予算額		63,138,000 円	目的	市民の健康づくり、水泳選手の育成、高齢者の介護予防を推進するため、安来市民プールの適切な管理運営及び利用促進を図る。				
予算現額		66,304,000 円						
決算額 A		65,890,222 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	使用料 39,828,155 円						
	一般財源	26,062,067 円						
人件費コスト B		0.2人役 1,526,400 円				総事業費 A+B	67,416,622 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市民プール業務委託事業】	50,928,392円	0円	0円	39,828,155円	11,100,237円
市民の健康増進や競技力向上、高齢者の介護予防対策等のため、スイミングスクール業務を委託し運営を行った。また小学校プール授業の受入れを行った。					
【市民プール維持管理経費】	14,961,830円	0円	0円	0円	14,961,830円
市民プールの維持管理を行った。					
● 燃料費	7,295,600円				
● 光熱水費	5,589,319円				
● その他	2,076,911円				



大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		給食教育課
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	76	学校給食管理費			款	10 教育費
事業開始年度		令和6年度			項	06 保健体育費
事業進捗度		-			目	03 給食施設費
当初予算額		15,519,000 円		目的	市内小中学校において、安全・安心かつ円滑に給食を提供する。	
予算現額		15,943,000 円				
決算額 A		13,168,729 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	基金	13,100,000 円			
	一般財源		68,729 円			
人件費コスト B		0.1人役	763,200 円	総事業費 A+B		13,931,929 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【学校給食管理事業】	13,168,729円	0円	0円	13,100,000円	68,729円

市内小中学校の学校給食の衛生管理及び提供体制を整え、児童生徒に対して安全で安心な給食を提供した。

●事業費内訳

報酬（給食配膳員）	11,066,655 円
共済費	22,854 円
需用費	1,135,420 円
器具費	943,800 円

●配膳員配置校：17校（小学校12校、中学校5校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	給食教育課				
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	79	給食センター管理費		款	10 教育費			
事業開始年度	令和6年度			項	06 保健体育費			
事業進捗度	-			目	03 給食施設費			
当初予算額	459,293,000 円		目的	給食センターの管理運営を行い、市内小中学校に給食を提供する。				
予算現額	467,997,000 円							
決算額 A	453,226,943 円							
財源内訳	国・県支出金	国10/10				19,100,000 円		
	地方債	過疎				22,700,000 円		
	その他	諸収入				157,472,551 円		
	一般財源					253,954,392 円		
人件費コスト B	5.5人役	41,976,000 円				総事業費 A+B	495,202,943 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源
 【給食センター管理事業】 453,226,943円 19,100,000円 22,700,000円 157,472,551円 253,954,392円
 市内小中学校及び幼稚園に給食を提供した。(3,100食/日、年間195日)
 (事業費内訳)

- 需用費 (消耗品費、燃料費、光熱水費、賄材料費外) 222,207,805 円
- 役務費 (手数料、火災保険料外) 1,275,037 円
- 委託料 (調理、炊飯、配送、警備、保守点検外) 223,001,647 円
- 器具費 2,954,820 円
- その他 3,787,634 円



大鍋で炒め物作業



コンテナ搬送作業



卒園・卒業祝い献立



お月見献立

※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 (充当額: 19,100,000円)